



# カウンセラーだより

たじま絆保育園 H30. 11月号

保護者の皆さま、こんにちは。今年は暖冬？と言われていますが、朝晩は冷え込みますね。これからどんどん寒くなってきますから、暖かくしてください。わたしは結構な冷え性で、つい先日、ヤフーショッピングで、あったかルームソックスを購入してしまいました(笑)。昨日、届いたのですが、袋を開けたらつい「ぶあつ」と一人苦笑してしまいました。。

さて、小言が長くなりましたが、今月号は『シングル家庭と子ども——ポジティブな側面に光を当てて——』です。シングル家庭への理解やシングルの方自身へのギフトに少しでもなれば幸いです。



## シングル家庭と子どもについて

- 日本の生涯離婚率はおおよそ35%、アメリカはおおよそ50%、ベルギーはおおよそ70%、と言われています。以上の通り、日本における離婚率は増え、世界的に見ても離婚は珍しい事ではなくなってきました。
- 大学院在学時、離婚をテーマに講義を受けました。内容としては離婚率の変遷や世界的な動向、離婚の是非・賛否について、カップル・ファミリー・カウンセリングにおける離婚の取扱い方、離婚が及ぼす家庭および子どもへの影響などでした。中でも色濃く覚えているのが、離婚の是非・賛否についてディスカッションをしたときに、「離婚自体が悪なのではない」「子どものため、親自身のための前向きな離婚が有り得る」と結論が出た事でした。つまり、離婚=いけないもの、あしきものとして離婚はしない方が良いという考えや、世間体を気にするあまり離婚をしない方が良いという考え方、子どものために離婚はしない方が良いという考えが、時に今後の幸せな家庭生活や人生行路を阻害してしまう恐れがある、と気づけた点は、今でも離婚やシングル家庭を支える際に大きなメリットとして働いています。
- わたしが今更お伝えする必要はないのですが、離婚が及ぼす親への影響としては、金銭面、家事・育児などへの負担から心身の健康への影響、子どもへの影響としては情緒への影響などが指摘されています。
- しかし今、日本では、どこの自治体(役所・地域行政)でも、ひとり親支援に力を入れています。具体的な内容は、知る限りでは、就労支援や諸手当(金銭支援)、家事援助、送迎支援、家庭相談(恋愛・同棲・結婚相談、育児相談など)など多岐に渡ります。
- こうした制度を利用しながら、悩みは沢山の人に分散させると共に気持ちは分かち合い、支援については沢山の方の力や手助けを借りながら、少しでも負担を軽減させ、家庭と育児、仕事をしていく事が、シングル家庭の幸せと健康度を増していきます。

## 12月のお知らせ

- 原則として、水曜09時~18時に出勤予定です。



**12月号は栄養士さんと調理師さんから「食と心理」について  
オーダーが出ています！ぜひ、ご覧ください！**